

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

令和5年度

事業報告書及び決算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日



EXPO'90
FOUNDATION

目次

事業報告書

I. 事業

1. 顕彰事業	9
(1) コスモス国際賞	
(2) BIE コスモス賞	
(3) 全国花のまちづくりコンクール事業	
2. 助成・協働事業	10
(1) 花博自然環境助成事業	
3. 普及啓発事業及び国際交流事業	12
(1) 次世代育成事業	
(2) 都市緑化推進運動等への協力事業	
(3) 普及啓発事業	
(4) その他普及啓発事業	
(5) 国際交流事業	
4. 調査研究・資料収集事業	18
5. 附属明細書	18

II. 庶務・管理

1. 理事会・評議員会等	19
2. 内閣府届出及び情報公開	22
3. その他	22

決算書

III. 財務諸表

1. 貸借対照表	25
2. 正味財産増減計算書	27
3. 正味財産増減計算書内訳表	30
4. 財務諸表に対する注記	33
5. 附属明細書	36
6. 財産目録	37

IV. 監査報告書	39
-----------	----

令和5年度

I. 事業

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

はじめに

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会（以下「協会」という。）は、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の「自然と人間との共生」という理念を継承し発展させることを目的に、各種事業を行っている。

令和5年度は、コスモス国際賞の30回の節目を記念した「コスモス国際賞30回記念のつどい・シンポジウム」を天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、開催した。また、第2次中期計画に掲げた、英知を讃え社会に紹介するものとして、歴代受賞者に係る図書の出版企画を進めた他、他団体との連携、協働により事業の相乗効果を図る、全国高校生「地域の自然」甲子園の実施、広報の強化等を行った。

1. 顕彰事業

（1）コスモス国際賞

「コスモス国際賞」の2023年（第30回）受賞者の選考等を次のとおり実施し、「授賞式」を開催すると共に、30回の節目を迎えたコスモス賞の意義を広く浸透させるため「30回記念のつどい・シンポジウム」を開催した。

また、2024年（第31回）の受賞候補者の推薦を国内外の推薦人に依頼するため、推薦依頼書を発送した。

ア. 受賞者の選考等

コスモス国際賞委員会（以下「賞委員会」という。）及びコスモス国際賞選考専門委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、次の選考作業を行った。

① 2023年（第30回）受賞者の選考等

- ・ 令和5年5月10日、5月24日に第1回、第2回選考委員会が開催され、2023年受賞者選考対象155件の推薦に基づき、慎重な選考作業が実施された。
- ・ 令和5年6月16日に第3回選考委員会及び第2回賞委員会が開催され、2023年受賞候補者にクリスティン・シュレイダー＝フレシェット博士（米国・ノートルダム大学名誉教授）が選定された。
- ・ 選考の経緯及び結果は、令和5年7月12日開催の第119回理事会に推挙され、受賞者として決定した。また、同日午後、国内外の報道機関に対して記者発表を実施した。

② 2024年（第31回）受賞者の選考準備等

- ・ 令和6年2月1日に第1回賞委員会が開催され、2024年（第31回）受賞者の受賞者選考に対して選考方針及び今後の日程等について審議された。
- ・ 国内外約1,900名の推薦人に対し、受賞候補者の推薦依頼を実施した。

イ. 2023年（第30回）コスモス国際賞授賞式の開催

国内外からの賓客を招き、「授賞式」を次のとおり開催した。

なお、受賞者シュレイダー＝フレッシュ博士は、体調不良により来日が叶わず、ビデオメッセージの放映により、つつがなく式を実施し、この模様はテレビニュースにて紹介された。

日時：令和5年11月8日（水）午後3時～5時

場所：住友生命いずみホール（大阪市中央区）

出席者：約350名（オンライン参加含む）

ウ. コスモス国際賞30回記念事業

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、歴代受賞者、賞委員会委員、協会関係者の出席のもと、「コスモス国際賞30回記念のつどい・シンポジウム」を次のとおり開催した。なお、この模様は、テレビ等のニュースで広く紹介された。

日時：令和5年11月14日（火）午後2時～5時10分

場所：国際連合大学「ウ・タント国際会議場」（東京都渋谷区）

後援：農林水産省、国土交通省、文部科学省、環境省、アメリカ大使館

出席者：約250名

出演者：白山 義久（2011年受賞団体メンバー、コスモス国際賞選考専門委員会委員長）

岩槻 邦男（2016年受賞者）

フェリシア・キーシング（2022年受賞者）

山極 壽一（コスモス国際賞委員会委員長）

沖 大幹（コスモス国際賞選考専門委員会委員）

中村 桂子（JT生命誌研究館名誉館長・当協会参与）

（2）全国花のまちづくりコンクール事業

花の万博を契機に「花と緑の国づくり・まちづくり」をめざして農林水産省及び国土交通省が提唱する花のまちづくりコンクールの推進協議会に参画し、第33回（2023年）全国花のまちづくりコンクールを実施した。

応募数：878件

入賞：農林水産大臣賞、国土交通大臣賞各2点、文部科学大臣賞1点をはじめ59件

表彰式日時：令和5年10月31日（火）午前11時30分～午後2時

表彰式場所：法曹会館（東京都千代田区）

主催：花のまちづくりコンクール推進協議会（当協会、公益財団法人日本花の会、公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人日本花普及センター）

2. 助成・協働事業

（1）花博自然環境助成事業

調査研究や活動行催事を行っている市民団体等を支援する助成事業を、阪急電鉄株式会

社からの寄附金を充当し実施した。

ア. 令和5年度助成事業

令和5年度は、別表1の23団体に対し、総額事業費10,000,000円の助成を行った。

(別表1)

	助成団体名	事業名
調査研究	NPO 法人生物多様性研究所あーすわーむ	浅間山の草原・森林における動植物モニタリング調査
	一般財団法人沖縄美ら島財団	沖縄の伝統的景観木の新病虫害防除に関する調査研究
	特定非営利活動法人オオタカ保護基金	栃木県那須野ヶ原のオオタカは減っているのか？
	神奈川トンボ調査・保全ネットワーク	絶滅危惧トンボ類の生息状況および生息環境調査
	日台里山交流会議	日台里山イノベーションの研究
活動・行催事	かたつむりミュージアム・ラセン館	かたつむりミュージアム・ラセン館の普及啓発活動
	伊吹くらしのやくそう倶楽部	棚田・里山生態系の立役者、ポリネーターを守る！
	江南の藤保存会	緑と藤棚の自然環境保全・保護プロジェクト
	福興浜団	菜の花迷路一般開放と菜の花畑整備
	特定非営利活動法人樹木研究会こうべ	木のお医者さんが伝える「樹木の生き方」
	一般社団法人ソーシャルギルド	河内地域を中心とした、自然環境整備拠点どうしの連携
	一般社団法人日本樹木医会 沖縄県支部	令和5年度日本樹木医会沖縄県支部特別講演・研修会
	生駒山昆虫観察の会	親子ペアで楽しむ「昆虫観察会～森の生態を探る」
	ミツバチサミット実行委員会	ミツバチサミット2023
	オープン台地実行委員会	上町台地の斜面緑地の魅力創造・発信事業
	特定非営利活動法人日本高山植物保護協会	大学生による三つ峠山アツモリソウ集団の保全活動
	特定非営利活動法人勿来まちづくりサポーター	花が育む高校生と地域との交流支援事業
	特定非営利活動法人里山再生と食の安全を考える会	里山から花とみどりあふれる地域づくり
	特定非営利活動法人 LEAF26	「椿の路」を媒体としたESD復興支援in野蒜
	源氏藤袴会	京都自生種の藤袴を保全育成し環境保全活動を推進する
	特定非営利活動法人パワーアップ支援室	心を支え風化を防ぐ花の防潮堤醸成プロジェクト(完)
	特定非営利活動法人日本ビオトープ協会	設立30周年記念ビオトープフォーラム in しずおか
	倉淵ヤマアジサイの会	休耕地を花と緑で埋め憩いの場所にする活動

イ. 令和6年度助成事業

令和6年度実施分について公募及び審査を行い、次のとおり助成対象団体を決定した。

① 公募及び審査

公募期間：令和5年8月1日（火）～9月8日（金）

応募数：46件（調査研究5件、活動・行催事41件）

審査期間：令和5年10月～令和6年2月

② 助成対象団体の決定

助成事業審査委員会の結果は令和6年2月5日付けで理事長に答申され、令和6年度の助成対象26件（調査研究3件、活動・行催事23件）を決定した。その後、第120回理事会（令和6年3月）に報告を行った。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

事業等により得られた成果を広く紹介し、行動変容を促すことを目的に次の事業を行った。

(1) 次世代育成事業

ア. 小学校講師派遣

協会に関係する学者、知識人等を講師に招き、小学校に派遣する本事業は、対面授業及びオンライン授業にて、別表2の計15校に対し、実施した。

(別表2)

実施日 (※はオンライン)	学校名、学年、児童数等	テーマ	講師
6月15日	富田林市立向陽台小学校 3年生 62名	昆虫の生態・川の世界	谷 幸三 (一般社団法人淡水生物研究所理事)
6月19日	八尾市立西山本小学校 5年生 43名	カタツムリの不思議な世界	河野 甲 (かたつむりミュージアム ラセン館代表)
6月21日	大阪市立茨田北小学校 3年生 108名	動物の命の不思議	長瀬 健二郎 (天王寺動物園元園長)
6月23日	大阪市立東井高野小学校 3年生 43名	カタツムリの不思議な世界	河野 甲
6月27日	寝屋川市立楠根小学校 4年生 31名	植物のかたちと はたらき	渋谷 俊夫 (大阪公立大学教授)
7月13日	大阪市立茨田東小学校 4年生 42名	昆虫の生態・川の世界	谷 幸三
7月18日	摂津市立鳥飼西小学校 4年生 71名	動物の命の不思議	長瀬 健二郎
7月26日	四天王寺小学校 3年生 41名	砂漠の水がめスイカ	池谷 和信 (国立民族学博物館教授)
9月1日	高槻市立川西小学校 5年生 40名	植物のかたちと はたらき	渋谷 俊夫
9月4日	吹田市立山田第五小学校 3年生 30名	動物の命の不思議	長瀬 健二郎
9月14日	大阪市立井高野小学校 3年生 51名	昆虫の生態・川の世界	谷 幸三
9月21日	神戸市立多井畑小学校 4年生 43名	昆虫の生態・川の世界	谷 幸三

令和5年

9月26日	大阪市立晴明丘南小学校 3年生 46名	カタツムリの不思議な世界	河野 甲
11月22日※	大阪市立住吉川小学校 6年生 96名	生き物と食べ物について	佐藤 洋一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)
12月1日	大阪市立義務教育学校 生野未来学園 4年生 107名	植物のかたちと はたらき	渋谷 俊夫

イ. 花博チャンネル

感染症により縮小・中止した事業に替わる協会の新しい次世代育成事業である「花博チャンネル」は、次の3件の講義及び自然と人間との共生フォーラム等を動画サイトに掲載した。

「カタツムリの不思議な世界」

河野 甲 (かたつむりミュージアム ラセン館代表)

「生き物と食べ物について」

佐藤 洋一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)

「動物の命の不思議」

長瀬 健二郎 (天王寺動物園元園長)

ウ. コスモス国際賞受賞者紹介読本

受賞者の研究、業績をわかりやすく紹介する受賞者紹介読本(漫画)については、1993年受賞者「ギリアン・プランス卿」物語、2003年受賞者「ピーター・レーブン博士」物語の構成、編集を進めた。

エ. ネイチャー甲子園

高校生が動画撮影や生きもの調査により、地域の身近な自然、それに関わる人々の生業等を紹介するコンテスト型の事業、全国高校生「地域の自然」甲子園(通称:ネイチャー甲子園)は、動画クリエイト部門87件、生き物調査部門89件の応募があった。

公募期間:令和5年4月10日~11月30日(動画クリエイト部門)

令和5年4月10日~12月31日(生き物調査部門)

主催:当協会、株式会社地域環境計画

協賛:キヤノン株式会社

後援:文部科学省

決勝大会:

日時:令和6年2月11日(日・祝)午後2時~5時

場所:花博記念ホール(大阪市鶴見区)

出席者:140名(会場参加100名、オンライン40名)

(2) 都市緑化推進運動等への協力事業

ア. 国主催の運動等

「春の都市緑化推進運動期間（4～6月）」および「都市緑化月間（10月）」における「都市緑化キャンペーン活動」等を支援するため、都市緑化推進運動協力会に協力した。

イ. 都市公園制度制定 150 周年記念フォーラム

令和5年（2023年）に都市公園法制定 150 周年（太政官布達 150 周年）を迎えたことを記念し、関西の3園「円山公園（京都市）」「住吉公園（大阪府）」「奈良公園（奈良市）」の将来に向けての公園のあり方を議論するフォーラムを、実行委員会に参画し開催した。

開催日時：令和5年8月18日（金）午後1時～5時

場所：花博記念ホール（大阪市鶴見区）

参加者：270名（リアル140名、WEB130名）

ウ. 都市公園制度制定 150 周年記念誌

関西の都市公園である円山公園、住吉公園、浜寺公園（大阪府）、東遊園地（神戸市）、奈良公園を紹介する記念誌「関西5園の歴史と未来」を2,000部刊行し、関連のシンポジウムや催事、各園で配付した。

(3) 普及啓発事業

花の万博が開催された地元大阪において、理念の継承発展・普及啓発に関する事業を地元公共団体及び関連団体と協働し実施した。

ア. 都市公園制度制定 150 周年記念「おおさか都市緑化フェア」

花と緑あふれる豊かなまちづくりを進め、都市緑化に関する府民意識の高揚と知識の普及を図ることを目的に開催されている本フェアに参画した。

開催日：令和5年11月5日（日）

場所：大阪府営浜寺公園・大阪府営住吉公園

主催：当協会、大阪府、一般財団法人 大阪府公園協会

来場者：約24,000名

イ. みどりのまちづくり賞（大阪ランドスケープ賞）

緑の街づくりを推進することを目的とした第12回みどりのまちづくり賞に参画した。

公募期間：令和5年5月17日（水）～7月19日（水）

主催：当協会、大阪府、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

応募数・入賞数：32点・8点

表彰式日時：令和5年12月13日（水）午後2時～5時

場所：花博記念ホール（大阪市鶴見区）

来場者：約100名

ウ. はならんまん

大阪市民の花や緑のまちづくりへの関心を高め、花と緑を育てる伝統や文化への理解を促すとともに、花緑関連業界の交流と活性化を目的に開催された本事業に参画した。

開催日：令和5年11月3日（金・祝）～4日（土）

場所：花博記念公園鶴見緑地（大阪市鶴見区）

主催：当協会、大阪市

来場者：約40,000名

エ. 万博の桜2025事業

2025年大阪・関西万博への期待感や機運を高め、関西の緑化環境の向上を目指す、募金による「2025本の桜」植樹事業の実行委員会事務局として、寄附金受入れ及び広報事務を行った他、3月25日に元大阪市長公館（ザ・ガーデンオリエンタル・大阪）にて植樹式を行った。

なお、経費の一部として阪急電鉄株式会社からの寄附を充当した。

(5) その他普及啓発事業

ア. 牧野富太郎関連事業

① 牧野富太郎シンポジウム

令和5年春よりNHK連続テレビ小説にて植物学者牧野富太郎をモデルにした「らんまん」が放映されたことを契機に、公益社団法人日本植物園協会と共催にてシンポジウムを開催した。

開催日時：令和5年7月30日（日）午後1時～3時30分

場所：日比谷図書文化館 大ホール（東京都千代田区）

参加者：200名

出演者：田中 伸幸（国立科学博物館植物研究部・牧野富太郎植物採集行動録編者）

邑田 仁（東京大学名誉教授・元小石川植物園園長）

田中 純子（練馬区立牧野記念庭園学芸員）

② 牧野富太郎スタンプラリー

植物の魅力や大切さを再確認することを目的に、「咲くやこの花館」「大阪市立長居植物園」「大阪公立大学附属植物園」と連携し、令和5年4月20日（木）～6月30日（金）の間、スタンプラリーを実施した。

イ. 自然と人間との共生フォーラム ～緑が育む生物多様性・生命のゆりかご～

当協会、公益社団法人日本動物園水族館協会、公益社団法人日本植物園協会の協働により、市民への普及啓発を行う、連携・協働事業をオンラインにて実施した。

開催日時：令和6年3月9日（土）午後2時～4時

参加者：約 120 名

出演者：基調講演

「いきものと共に歩む動物園水族館」

中村 雅之（(公社) 日本動物園水族館協会副会長）

プレゼンテーション・パネルディスカッション

「アマミトゲネズミ～域外保全の取り組み～」

古根村 幸恵（宮崎市フェニックス自然動物園）

「どっこい生きてる、里山・里浜のラン」

小幡 晃（東京都建設局元動物園整備担当課長）

「カタツムリの多様性と環境との関わり」

河野 甲（かたつむりミュージアム・ラセン館代表）

ウ. 能登半島地震復興支援募金

令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震の復興支援のため、一般社団法人フラワーズサイエティと協働により、令和 6 年 2 月 25 日（日）に鶴見緑地公園内で募金活動を行った。集まった募金総額 115,710 円は石川県（大阪事務所）に寄附をした。

エ. 第 18 回日中韓国際ランドスケープ専門家会議

日本、中国、韓国の造園家による国際会議を共催により、次のとおり開催した。

開催期間：令和 5 年 11 月 10 日（金）～11 月 12 日（日）

場所：京都大学北部総合教育研究棟他

テーマ：「アジアから発信する次世代のランドスケープー伝統と革新」

主催、共催：当協会、(公社) 日本造園学会、中国風景園林学会、韓国造景学会

後援：国土交通省、環境省、京都市

参加者数：約 170 名（シンポジウム 11 月 11 日開催）

オ. 広報・報道活動等

① 各事業の理解促進・普及を図るためホームページや SNS に事前告知や事業報告等を随時掲載した他、「自然と人間との共生」に関わる話題を提供する協会情報誌『KOSMOS』12 号、13 号は、「衣」と「食」をテーマとした対談、コラムを掲載し、発刊・配付した。

② コスモス国際賞の最新情報を掲載したパンフレットを作成し、授賞式等で配付した。また、2023 年（第 30 回）受賞者の業績、コスモス国際賞の趣意、構成、授賞式等を取りまとめた報告書を作成し、国内外の関係者に配付した。

③ 今後開催が計画されている博覧会や各種イベント等の主催者、花の万博紹介媒体に対し、情報、写真の提供を行った。

国・地方自治体等－10 件、企業・個人－5 件

④ 各種行催事等に別表 3 のとおり協賛・後援・会長賞の交付を行った。

⑤ 協会並びに事業の浸透を図るためノベルティを作製した。

(別表 3)

催事名 (開催時期)	開催場所	主催	名義
第 20 回 2023 周防町通り「はなまつり」 (R5. 5. 1～5. 31)	周防町通り (堺筋～御堂筋間) と大阪市立南小学校 (大阪府中央区)	ヨーロッパ村周防町通り商店会	後援
令和 5 年度大阪府立花の文化園「幼児・小中学生花の絵画展」(R6. 1. 5～2. 4)	大阪府立花の文化園 イベントホール (大阪府河内長野市)	大阪府、大阪府立花の文化園	後援 会長賞
水都 ^{もり} おおさか森林の市 2023 (R5. 10. 22)	近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園周辺 (大阪府北区)	水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会	後援
緑の講演会「小島佐一の心得の継承」 (R5. 7. 29)	京都経済センター6F (京都市下京区) WEB開催	一般財団法人日本造園修景協会京都府支部	後援
第 78 回日本おもと名品展 (R5. 11. 25～11. 26)	上野グリーンクラブ (東京都台東区)	日本おもと協会	後援 会長賞
令和 5 年度「都市緑化月間」 (R5. 10. 1～10. 31)	全国	国土交通省、都道府県、市町村	協賛
令和 5 年度第 43 回伝統庭技研修会 (R5. 11. 30～12. 1)	梅小路公園緑の館 (京都市下京区)	一般財団法人日本造園修景協会	後援
小品盆栽フェア第 32 回春雅展 (R6. 3. 22～3. 24)	花博記念公園鶴見緑地内 ハナミズキホール (大阪府鶴見区)	公益社団法人全日本小品盆栽協会	後援 会長賞
「第 56 回春のハンキングバスケット展」 (R6. 4. 9～4. 21)	咲くやこの花館 プチイングリッシュガーデン (大阪府鶴見区)	咲くやこの花館	後援 会長賞
私のランドスケープ (R6. 2. 10)	京都経済センター6-F (京都市下京区) WEB開催	一般財団法人日本造園修景協会京都府支部	後援

(6) 国際交流事業

ア. 国際園芸博出展協力

2023 年 10 月 2 日から 2024 年 3 月 28 日にカタールで開催された「2023 年ドーハ国際園芸博覧会」での日本国政府出展に協力した。また、当協会のブース出展として、12 月 19 日から 12 月 31 日に日本の花き文化や庭園文化を紹介する展示等を行った。

イ. コスモス賞受賞者フォローアップ

2021 年受賞者ピーター・ベルウッド博士の著書「500 万年のオデッセイ・人類の大拡散物語」の邦訳本出版を企画し、協力 (青土社) 実施した。

ウ. ウクライナフラワープレゼント

ウクライナ学生支援会事務局の協力により、日本へ避難・留学されてきた学生 (28 校、80 名) を対象に「花とみどりのギフト券」(4,000 円分) を、ウクライナ独立記念日とク

リスマスに合わせ贈った。

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 共生ツアー

奈良県吉野町の林業をテーマに、自然と結びついた生業、文化、景観等の成り立ちについて体験、学習するエクスカージョン型ツアーを実施した。

開催日：令和5年8月5日（土）

場所：奈良県吉野町

参加者：23名（一般）

内容：山守ツアー、皮剥ぎ体験、ロープワーク体験、製材所視察、吉野杉の家視察

(2) SDGs パンフレット

企業メセナやSDGsに関心をもつ企業に対し、協会との連携協働を促すための、事業紹介パンフレットを作成した。

5. 附属明細書

事業における重要な事項は令和5年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。

令和5年度

II. 庶務・管理

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1. 理事会、評議員会等

(1) 第117回理事会 令和5年6月14日(水)

開催場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

決議事項：令和4年度事業報告及び収支決算について

定時評議員会の招集について

評議員会に提出する評議員候補者（案）について

評議員会に提出する理事候補者（案）について

顧問、参与の選任について

(2) 第118回理事会 令和5年6月29日(木)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：会長(代表理事)、理事長(代表理事)、専務理事(業務執行理事)の選定について

(3) 第119回理事会 令和5年7月12日(水)

開催場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

決議事項：2023年（第30回）コスモス国際賞受賞者の決定について

(4) 第120回理事会 令和6年3月19日(火)

開催場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

決議事項：特定資産の取崩しについて

令和6年度資産運用方針書について

令和6年度事業計画及び収支予算について

特定資産の保有について

特定費用準備資金の保有について

コスモス国際賞委員会委員の選任について

助成事業審査委員会委員の選任について

役員賠償責任保険の加入及び法人の保険料負担について

臨時評議員会の招集について

(5) 第64回評議員会 令和5年6月29日(木)

開催場所：ハービス PLAZA 会議室（大阪市北区）

決議事項：令和4年度事業報告及び収支決算書類の承認について

評議員の選任について

理事の選任について

(6) 第65回評議員会 令和6年3月31日(日)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取り崩しについて

2. 内閣府届出及び情報公開

令和5年6月に開催した理事会、評議員会における令和4年度事業報告及び収支決算、令和6年3月に開催した理事会における令和6年度事業計画及び収支予算、令和5年6月に開催した評議員会における評議員の辞任就任および理事の重任について、それぞれ内閣府に届出を行った。

また、定款、名簿、財務諸表等を協会事務所に据え置いたほか、協会ホームページにも掲載し、情報公開に努めた。

3. その他

第三者委員会として資産運用管理委員会を引き続き開催し、資産運用の業務状況を調査・確認し、代表理事に対して報告を行った。

また、令和4年度に策定した新たな中期計画のうち、広報戦略についてはアドバイザー会議を開催して検討を進め、改善を図った。

令和5年度

Ⅲ. 財務諸表

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1. 貸借対照表

令和6年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	104,928,361	139,947,214	△35,018,853
未収収益	78,924,351	77,270,688	1,653,663
流動資産合計	183,852,712	217,217,902	△33,365,190
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産定期預金	860,000,000	860,000,000	0
基本財産投資有価証券	29,400,000	29,400,000	0
基本財産普通預金	600,000	600,000	0
基本財産合計	890,000,000	890,000,000	0
(2)特定資産			
記念基金	9,791,696,496	9,475,835,040	315,861,456
退職給付引当資産	18,879,700	15,563,600	3,316,100
国際園芸博覧会出展事業積立資産	20,000,000	15,000,000	5,000,000
法人運営安定化資産	10,000,000	20,000,000	△10,000,000
コスモス国際賞30回記念事業積立資産	0	10,000,000	△10,000,000
大阪・関西万博協力事業積立資産	20,000,000	10,000,000	10,000,000
特定資産合計	9,860,576,196	9,546,398,640	314,177,556
(3)その他固定資産			
什器備品	8	8	0
その他固定資産合計	8	8	0
固定資産合計	10,750,576,204	10,436,398,648	314,177,556
資産合計	10,934,428,916	10,653,616,550	280,812,366
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,527,465	46,990,255	△32,462,790
預り金	1,483,303	293,600	1,189,703
賞与引当金	2,757,323	2,309,612	447,711
流動負債合計	18,768,091	49,593,467	△30,825,376
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,879,700	15,563,600	3,316,100
固定負債合計	18,879,700	15,563,600	3,316,100
負債合計	37,647,791	65,157,067	△27,509,276
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
基本財産運用益	90,000,000	90,000,000	0
特定資産運用益	800,000,000	800,000,000	0

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
特定資産評価差額金等	△208,303,504	△524,164,960	315,861,456
指定正味財産合計	10,681,696,496	10,365,835,040	315,861,456
（うち基本財産への充当額）	(890,000,000)	(890,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(9,791,696,496)	(9,475,835,040)	(315,861,456)
2. 一般正味財産	215,084,629	222,624,443	△7,539,814
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(50,000,000)	(55,000,000)	(△5,000,000)
正味財産合計	10,896,781,125	10,588,459,483	308,321,642
負債及び正味財産合計	10,934,428,916	10,653,616,550	280,812,366

2. 正味財産増減計算書

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,245,497	4,569,108	△323,611
基本財産受取利息	4,245,497	4,224,408	21,089
基本財産投資有価証券償還益	0	344,700	△344,700
特定資産運用益	240,912,205	249,292,308	△8,380,103
記念基金受取利息	240,912,205	248,792,308	△7,880,103
記念基金投資有価証券償還益	0	500,000	△500,000
受取寄付金	3,000,000	4,500,000	△1,500,000
受取寄付金	3,000,000	4,500,000	△1,500,000
経常収益計	248,157,702	258,361,416	△10,203,714
(2) 経常費用			
事業費	203,044,693	211,340,873	△8,296,180
役員報酬	8,564,584	8,710,730	△146,146
給与手当	34,743,096	34,172,942	570,154
法定福利費	6,033,554	5,955,862	77,692
退職給付費用	1,726,362	2,479,517	△753,155
賃金	3,233,864	3,184,144	49,720
職員厚生費	168,749	155,896	12,853
会議費	2,396,309	2,483,218	△86,909
旅費交通費	9,293,626	6,970,187	2,323,439
通信運搬費	3,437,853	2,818,050	619,803
広告費	40,302	736,988	△696,686
消耗什器備品費	152,393	882,617	△730,224
消耗品費	2,963,331	1,888,777	1,074,554
印刷製本費	1,670,864	1,695,160	△24,296
光熱水料費	3,672,715	3,685,004	△12,289
役務費	21,368	106,645	△85,277
委託費	46,494,711	48,872,123	△2,377,412
賃借料	3,537,184	3,811,540	△274,356
使用料	2,918,925	2,417,179	501,746
保険料	213,472	213,472	0
諸謝金	8,607,956	8,605,006	2,950
租税公課	360,292	25,480	334,812
支払負担金・会費	12,237,832	17,512,744	△5,274,912

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払助成金	9,430,439	12,980,404	△3,549,965
支払手数料	568,558	306,694	261,864
顕彰賞金	40,110,000	40,000,000	110,000
雑費	446,354	670,494	△224,140
管理費	52,652,823	54,127,110	△1,474,287
役員報酬	3,670,536	3,733,170	△62,634
給与手当	31,406,182	32,035,840	△629,658
法定福利費	6,136,625	6,241,228	△104,603
退職給付費用	1,589,738	2,365,183	△775,445
職員厚生費	155,395	148,708	6,687
会議費	238,322	240,224	△1,902
旅費交通費	1,571,750	1,272,250	299,500
通信運搬費	293,487	321,659	△28,172
消耗什器備品費	27,126	358,357	△331,231
消耗品費	464,059	383,506	80,553
光熱水料費	1,574,021	1,579,288	△5,267
役務費	9,157	45,705	△36,548
委託費	2,480,356	2,728,184	△247,828
賃借料	1,467,436	1,484,503	△17,067
使用料	554,285	347,201	207,084
保険料	91,488	91,488	0
諸謝金	125,700	170,700	△45,000
租税公課	131,568	1,920	129,648
支払負担金・会費	458,505	444,781	13,724
支払手数料	202,696	112,583	90,113
雑費	4,391	20,632	△16,241
経常費用計	255,697,516	265,467,983	△9,770,467
当期経常増減額	△7,539,814	△7,106,567	△433,247
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△7,539,814	△7,106,567	△433,247
一般正味財産期首残高	222,624,443	229,731,010	△7,106,567
一般正味財産期末残高	215,084,629	222,624,443	△7,539,814

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	4,500,000	△1,500,000
受取寄付金	3,000,000	4,500,000	△1,500,000
基本財産運用益	4,245,497	4,569,108	△323,611
基本財産受取利息	4,245,497	4,224,408	21,089
基本財産投資有価証券償還益	0	344,700	△344,700
特定資産運用益	240,912,205	249,786,682	△8,874,477
記念基金受取利息	240,912,205	249,286,682	△8,374,477
記念基金投資有価証券償還益	0	500,000	△500,000
特定資産評価損益等	315,861,456	△396,943,892	712,805,348
記念基金投資有価証券評価損益等	315,861,456	△396,943,892	712,805,348
一般正味財産への振替	△248,157,702	△258,855,790	10,698,088
一般正味財産への振替	△248,157,702	△258,855,790	10,698,088
当期指定正味財産増減額	315,861,456	△396,943,892	712,805,348
指定正味財産期首残高	10,365,835,040	10,762,778,932	△396,943,892
指定正味財産期末残高	10,681,696,496	10,365,835,040	315,861,456
III 正味財産期末残高	10,896,781,125	10,588,459,483	308,321,642

3. 正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,273,648	2,971,849	4,245,497
基本財産受取利息	1,273,648	2,971,849	4,245,497
特定資産運用益	168,638,544	72,273,661	240,912,205
記念基金受取利息	168,638,544	72,273,661	240,912,205
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
経常収益計	172,912,192	75,245,510	248,157,702
(2) 経常費用			
事業費	203,044,693	0	203,044,693
役員報酬	8,564,584	0	8,564,584
給与手当	34,743,096	0	34,743,096
法定福利費	6,033,554	0	6,033,554
退職給付費用	1,726,362	0	1,726,362
賃金	3,233,864	0	3,233,864
職員厚生費	168,749	0	168,749
会議費	2,396,309	0	2,396,309
旅費交通費	9,293,626	0	9,293,626
通信運搬費	3,437,853	0	3,437,853
広告費	40,302	0	40,302
消耗什器備品費	152,393	0	152,393
消耗品費	2,963,331	0	2,963,331
印刷製本費	1,670,864	0	1,670,864
光熱水料費	3,672,715	0	3,672,715
役務費	21,368	0	21,368
委託費	46,494,711	0	46,494,711
賃借料	3,537,184	0	3,537,184
使用料	2,918,925	0	2,918,925
保険料	213,472	0	213,472
諸謝金	8,607,956	0	8,607,956
租税公課	360,292	0	360,292
支払負担金・会費	12,237,832	0	12,237,832
支払助成金	9,430,439	0	9,430,439
支払手数料	568,558	0	568,558
顕彰賞金	40,110,000	0	40,110,000
雑費	446,354	0	446,354

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費	0	52,652,823	52,652,823
役員報酬	0	3,670,536	3,670,536
給与手当	0	31,406,182	31,406,182
法定福利費	0	6,136,625	6,136,625
退職給付費用	0	1,589,738	1,589,738
職員厚生費	0	155,395	155,395
会議費	0	238,322	238,322
旅費交通費	0	1,571,750	1,571,750
通信運搬費	0	293,487	293,487
消耗什器備品費	0	27,126	27,126
消耗品費	0	464,059	464,059
光熱水料費	0	1,574,021	1,574,021
役務費	0	9,157	9,157
委託費	0	2,480,356	2,480,356
賃借料	0	1,467,436	1,467,436
使用料	0	554,285	554,285
保険料	0	91,488	91,488
諸謝金	0	125,700	125,700
租税公課	0	131,568	131,568
支払負担金・会費	0	458,505	458,505
支払手数料	0	202,696	202,696
雑費	0	4,391	4,391
経常費用計	203,044,693	52,652,823	255,697,516
当期経常増減額	△30,132,501	22,592,687	△7,539,814
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△30,132,501	22,592,687	△7,539,814
当期一般正味財産増減額	△30,132,501	22,592,687	△7,539,814
一般正味財産期首残高	48,565,708	174,058,735	222,624,443
一般正味財産期末残高	18,433,207	196,651,422	215,084,629

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産運用益	1,273,648	2,971,849	4,245,497
基本財産受取利息	1,273,648	2,971,849	4,245,497
特定資産運用益	168,638,544	72,273,661	240,912,205
記念基金受取利息	168,638,544	72,273,661	240,912,205
特定資産評価損益等	221,103,019	94,758,437	315,861,456
記念基金投資有価証券評価損益等	221,103,019	94,758,437	315,861,456
一般正味財産への振替	△172,912,192	△75,245,510	△248,157,702
一般正味財産への振替	△172,912,192	△75,245,510	△248,157,702
当期指定正味財産増減額	221,103,019	94,758,437	315,861,456
指定正味財産期首残高	7,232,084,536	3,133,750,504	10,365,835,040
指定正味財産期末残高	7,453,187,555	3,228,508,941	10,681,696,496
Ⅲ 正味財産期末残高	7,471,620,762	3,425,160,363	10,896,781,125

4. 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

その他の固定資産

什器備品…定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、職員の退職手当支給規程に基づき、
期末要支給額を計上している。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	860,000,000	0	0	860,000,000
投資有価証券	29,400,000	0	0	29,400,000
普通預金	600,000	0	0	600,000
小計	890,000,000	0	0	890,000,000
特定資産				
記念基金	9,475,835,040	5,624,164,960	5,308,303,504	9,791,696,496
退職給付引当資産	15,563,600	3,316,100	0	18,879,700
国際園芸博覧会出展 事業積立資産	15,000,000	10,000,000	5,000,000	20,000,000
法人運営安定化資産	20,000,000	10,000,000	20,000,000	10,000,000
コスモス国際賞30回 記念事業積立資産	10,000,000	0	10,000,000	0
大阪・関西万博協力 事業積立資産	10,000,000	10,000,000	0	20,000,000
小計	9,546,398,640	5,657,481,060	5,343,303,504	9,860,576,196
合計	10,436,398,640	5,657,481,060	5,343,303,504	10,750,576,196

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	860,000,000	(860,000,000)	(0)	-
投資有価証券	29,400,000	(29,400,000)	(0)	-
普通預金	600,000	(600,000)	(0)	-
小 計	890,000,000	(890,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
記念基金	9,791,696,496	(9,791,696,496)	(0)	(0)
退職給付引当資産	18,879,700	-	-	(18,879,700)
国際園芸博覧会出展 事業積立資産	20,000,000	-	(20,000,000)	(0)
法人運営安定化資産	10,000,000	-	(10,000,000)	(0)
コスモス国際賞30回 記念事業積立資産	0	-	(0)	(0)
大阪・関西万博協力 事業積立資産	20,000,000	-	(20,000,000)	(0)
小 計	9,860,576,196	(9,791,696,496)	(50,000,000)	(18,879,700)
合 計	10,750,576,196	(10,681,696,496)	(50,000,000)	(18,879,700)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	品 名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	花博会場模型	10,036,290	10,036,289	1
	コスモス国際賞顕彰品レプリカ	2,200,000	2,199,999	1
	ラフレシア(花)標本	4,506,293	4,506,292	1
	DVDレコーダー	165,000	164,999	1
	液晶テレビ	593,620	593,619	1
	ノートパソコン	193,200	193,199	1
	デジタルビデオカメラ	106,500	106,499	1
	プロジェクター	147,000	146,999	1
合 計		17,947,903	17,947,895	8

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第160回利付国債	29,400,000	28,966,890	△ 433,110
小 計	29,400,000	28,966,890	△ 433,110

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	4,245,497
記念基金受取利息	240,912,205
受取寄付金	3,000,000
合 計	248,157,702

7 その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債、仕組預金)のみであり、運用限度枠を設けている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

記念基金に含まれる投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)が含まれており、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。なお、当該投資有価証券には、リスクが高いものとして、中途解約が著しく制約されていることにより、満期到来までに資金化することが困難な流動性に乏しい債券(仕組債)4,741百万円が含まれている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用管理規程及び資産運用基準に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

5. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3. に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,309,612	2,757,323	2,309,612	0	2,757,323
退職給付引当金	15,563,600	3,316,100	0	0	18,879,700

6. 財産目録

令和6年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	53,867
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	運転資金として	56,232,572
		三井住友銀行大阪公務部	運転資金として	33,821,233
		三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	運転資金として	250,115
		三井住友信託銀行大阪本店営業部	運転資金として	14,570,574
現金預金合計			104,928,361	
未収収益		公益目的事業及び管理目的の財源として使用する債券等の未収利息	78,924,351	
流動資産合計				183,852,712
(固定資産)				
基本財産	普通預金	りそな銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	600,000
			うち公益目的保有財産である	180,000
			うち管理目的の財源として使用する財産である	420,000
	定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	860,000,000
			うち公益目的保有財産である	258,000,000
			うち管理目的の財源として使用する財産である	602,000,000
	投資有価証券	第160回利付国債	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	29,400,000
			うち公益目的保有財産である	8,820,000
			うち管理目的の財源として使用する財産である	20,580,000
			基本財産合計	
特定資産				
記念基金	投資有価証券	関西国際空港20年債他	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	9,791,696,496
			うち公益目的保有財産である。	6,701,675,747
			うち管理目的の財源として使用する財産である。	2,872,146,749
普通預金	りそな銀行大阪公務部		運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	217,874,000
			うち公益目的保有財産である。	152,511,800
			うち管理目的の財源として使用する財産である。	65,362,200
退職給付引当資産				18,879,700
普通預金	りそな銀行大阪公務部		退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	18,879,700
国際園芸博覧会出展事業積立資産				20,000,000
普通預金	三井住友銀行大阪公務部		公益目的保有財産であり、2027年の横浜国際園芸博覧会出展事業の財源として管理している。	20,000,000

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定 資産	法人運営安定化資産			10,000,000
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	公益目的保有財産であり、法人運営安定化の財源として管理している。	10,000,000
	大阪・関西万博協力事業積立資産			20,000,000
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	公益目的保有財産であり、2025年の大阪・関西万博協力事業の財源として管理している。	20,000,000
			特定資産合計	9,860,576,196
	什器備品	花博会場模型等	公益目的事業及び管理目的の財産として使用している。	8
固定資産合計				10,750,576,204
資産合計				10,934,428,916
(流動負債)				
	未払金	令和5年度助成事業対象者に対する未払額等	公益目的事業及び管理目的の業務等未払い分	14,527,465
	預り金	役職員等に対するもの	源泉徴収税等	1,483,303
	賞与引当金	職員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	2,757,323
流動負債合計				18,768,091
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員7名に対する退職金の支払いに備えたもの	18,879,700
固定負債合計				18,879,700
負債合計				37,647,791
正味財産				10,896,781,125

令和5年度

IV. 監査報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

監査報告書

令和6年5月28日

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
会長 御手洗 富士夫 様

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

北山 諒一

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

崎元 利樹

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他必要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上